

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
1	施設の整備手法としてPFI方式がメリットとして大きい場合もあるため、是非検討頂きたい。LCCおよび事業費総額の減額（VFM）といった金額メリットだけでなく、市民サービスへの質的向上も地元企業だけでは、決して満足できない部分もあるかと思います。 地元企業と各サービスの専門性を持った入札者（事業者）を選定し、今までの白岡にない複合的サービスを実施頂ければ、大変喜ばしいことだと思います。 ※おそらく、この事業規模や昨今の状況からすると、PFI－BOT－サービス購入型でしょうか。安倍政権も推し進めるPPP事業拡大にも添えるのではないかと存じます。	PFI方式の導入につきましては、どの程度総事業費の削減が見込めるかという数値の評価と、その事業がPFIに適しているか、サービスの向上が見込めるかなどの質の評価を行い、総合的に検討いたしました。残念ながら、財政負担の削減がほとんど見込めないことや競争率の確保が困難であること、またスケジュールの遅延が想定されることなどから、PFI方式の導入効果は低いと判断したものです。 このため、今後は効果的なコスト削減、経済性・合理性に優れた施設の適切な管理・運営、複合的なサービスを実施できるよう指定管理者制度の導入や業務委託等の民間活力の導入について検討して参りますので、御理解願います。
2	・武雄市図書館のような、カフェスペース併設。地域のシンボルとなる施設を。デザイン性も求む。 ・場所はいいのでは。駅からの動線、どうにかしてほしい。（高速上のブリッジなどの整備） ・閲覧スペース、子供スペースもたっぷりと。金沢海みらい図書館みたいに。 ・住みたい町、埼玉1位にふさわしい図書館をめざし、市担当、設計コンサルには最大の熱意ですばらしいものを作ってもらいたいです。	カフェスペースの設置につきましては、施設の基本コンセプトの一つである、長時間滞在できる施設を実現するために、簡易カフェの設置を検討しております。立派な厨房施設のある本格的なカフェにつきましては、採算性の面で導入が難しいと想定されることから、簡易カフェの設置につきまして、設計の段階で導入方法等を考慮しつつ検討を進めて参ります。 また、「高速上のブリッジ」につきましては、白岡駅東口から延びる都市計画道路「白岡宮代線」と呼ばれる道路の整備を進めておりますので、早期に開通できるよう努めて参ります。 閲覧スペースなど各機能につきましては、引き続き設計の段階で魅力ある施設となるよう検討して参ります。
3	白岡市における図書館施設の拡充のニーズは現状を見て、或は他市町と比べても疑う余地はありません。 しかしながら、将来の人口動態をどのようにとらえて計画したのかが不明でありますし、参照されている事例も明らかにバブル期に作った身の丈以上のもののように見受けられ今回の施設の基本構想（広さなど）が何を基にしているのかが理解し難いところです。 加えて、民間であれば当然の税金との将来の収支計画がどうなっているのか、この計画によるインパクトはどうなのかのコメントがない基本構想というものに私の経験からして違和感を持ちますが、私だけでしょいか。	図書館機能の規模につきましては、51ページにも記載のとおり、公的機関が公表している2つの基準と指標から蔵書冊数の目標を設定して、必要な面積を検討したものです。また、他の機能につきましても、必要な機能を積み上げつつ、他施設の事例を考慮し設定いたしましたので、御理解願います。 また、税金や将来の収支計画につきましては、計画の中で見えにくい部分ではありますが、事業費を算出する際に、市としての税金等の見通しや今後発生する費用を想定した財政シミュレーションを行い、生涯学習施設に係る概算事業費を設定いたしましたので、御理解願います。

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
4	25日の勤労青少年センターでの図書館主催の講演会に参加しました。合わせて、市のHPにて白岡市生涯学習施設基本構想を拝見しました。 講演会で講師の方は、日本各地の注目されている図書館についての紹介とそれぞれの特徴、地域に合わせて内容をしばって構想された図書館作りの意味を強調されていたと思います。家にもどり、講演会で紹介された日本各地の図書館のHPを自宅で復習してみました。その市町村により、規模、予算、住民の生活現状を研究し、住民が知恵を出し合い、それぞれの街にあった図書館を作る工夫がされていることに興味しました。 白岡市の基本構想では、大きく3つを生涯学習施設の目標とされていますね。図書館機能、資料館機能、生涯学習機能、です。予算、敷地面積が許せば、3つとも求めていきたいですが、白岡市も少子高齢化にともない、問題は多々あります。大山資料館や現在の図書館裏にある資料館にあるものを生かしたいという意欲も理解できますが、白岡の遺跡や歴史の常設展示スペースは不要と思います。近隣の同じ人口の図書館にはそのようなスペースはありません。講演にもあったように、図書館の中に小さなスペースをいくつか設置し、月ごとに展示を変える工夫で十分と私は思います。白岡の歴史や遺跡展示にスペースや予算をさくよりも、今現在の求められるものにもっと予算や場所を使うことが大切です。自習スペース、グループ学習できるスペース、またIT機器学習のできるスペースを設置、など、格差により、学習が困難になっている白岡の子どもたちのための図書館としての機能に重点をおいたほうが、小さな行政である白岡市レベルではよいのではないのでしょうか？もっと目的をしばり、本当に必要とされる機能を重視していただけたらと思います。 白岡市が現在、なんとか人口増を維持できているのは、都市部より住居を求めて引っ越してきた住民の増加によるものです。今後の未来をになう子どもたちが希望ある将来のための学習していけることを第一に考える生涯学習施設を目指していただきたいと思います。	大山小学校内に設置しております大山民俗資料館につきましては、庶民の生活・文化の発展の歴史を生活用具や生産用具を中心に展示公開しておりますが、市街地から遠く、旧大山小学校の木造校舎を利用していることから、温度管理、湿度管理、給排水設備などが備わっていない状態のため、市民が気軽に訪れ体験学習などに参加できる新たな展示や学習プログラムの提供ができる施設が望まれております。 このため、新たに白岡の歴史を中心とした常設展示スペースを設け、見て・触れて・感じるができる体験の場として、また、白岡の歴史を後世に伝えていく役割を担う場としての整備を進めるものです。 また、近隣の市町では、単独館として郷土資料館等を設置しておりますが、当市では複合館として整備することにより、郷土の歴史に興味のない方にも白岡の歴史に触れたり、展示スペースを利用した図書の紹介や司書と学芸員の両者によるレファレンスなど、単独館では実現できない新たなサービスも提供したいと考えております。 また、未来を担う子どもたちのために、一定の静粛性を保った学習室や個人学習コーナー、CDやDVDが視聴できる視聴覚・ITコーナー、青少年同士の交流の場となる談話スペースなどの設置や、小中学校の夏休みに出される地域の調査研究などの自由研究課題に対するレファレンスなど、学習しやすい環境の整備・充実に努めて参ります。

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
5	①多目的ホールについて イメージ図を見ますと、当然ですが、「可動間仕切り」を使用しています。視聴覚室と、音楽・軽スポーツ室の用途となっていますが、隣の部屋の音が、邪魔になるのではと、心配です。 ②ギャラリー（企画展示室）について 創作活動をしている市民団体が利用する場合、展示パネルが容易に設置できる物にして欲しい（高齢化社会の中で、高齢者でも利用しやすいギャラリーが必要）。各作品に照明が行きわたるようお願いします。	多目的ホールにつきましては、できる限り共有でき、多目的な利用が可能となるよう検討を重ねた結果、可動式の間仕切りを利用し、利用人数、利用形態に合わせた大きさに変更できるようにしたいと考えております。 御心配されている隣り合う部屋の音につきましては、多目的な利用環境が共存可能となるよう防音対策に努めて参ります。 ギャラリー（企画展示室）につきましては、市民の方の創作活動の発表の場として誰もが見やすく、利用しやすい貸出ギャラリーとなるよう検討して参ります。
6	図書館を利用する者として、現状隣の公民館の音がうるさいことが多々あるので、建設に当たっては、多目的ホールの音が聞こえないことを望みます。 電子図書も利用したいので、札幌中央図書館なども参考にしたい。（タブレットは進化が激しいので、図書館で用意する必要はなく、個人で用意すべきでは、と思います。） 因みに図書館に眺望は不要です。現図書館も図書を探すとき窓がまぶしくて探しにくいです。 図書館、開くの遅いです。会社員も利用しやすいように開閉時間の延長をお願いします。	多目的ホールなどの大きな音が出る部屋につきましては、防音に配慮して参ります。 電子図書の利用につきましては、他の図書館を参考に市民の方が利用しやすいものとなるよう検討して参ります。 眺望につきましては、設計の段階において生涯学習施設としてのバランスを考慮しながら検討いたします。 開館時間につきましては、今後、運用面をつめて参りますが、市民の方が利用しやすい図書館となるよう検討して参ります。
7	基本計画（案）、各機能に配慮された内容を拝見致しました。 その機能を十分に実行していくために、働く人々の人材育成にも力を入れてほしいと願います。いつも新しい視点で柔軟な考えアイデアにとんだ実行力のある人材がほしいですね。働く人を育て、人と人が行き会い、コミュニケーションの生まれる場所となる施設運営をしてほしいと思います。 子育て世代支援サービスも夢のもてる支援を数多くの子どもたちにサービスしてほしいです。大人も大事ですが、次世代の子供達に残せる施設、利用しやすい、魅力ある文化創造の拠点としてのスタートを望みます。	施設運営につきまして、専門的知識を有した司書や学芸員を中心とした計画的な職員の配置とともに、研修などによる人材育成を図り、人と人との交流ができる場所と時間を提供することができる施設運営と利用者の多様なニーズに応えられるサービスの実現に努めて参ります。 また、子育て世代支援サービスにつきましても、御意見を参考に子育て世代に配慮した設備の充実やサービスの展開ができるよう検討して参ります。

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
8	白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画(案)について読ませていただきました。 そこで以下の2点について提案させていただきます。 ① 正式な設計図を作成する際は、障害のある当事者を交えて差別や合理的配慮にかけることがないように作成し建設して下さい。 ② 精神障害者など就労に結びつく機会が少ない障害のある人の雇用をお願いいたします。また施設内にカフェなど働く機会の場の設置も合わせてお願いいたします。	頂きました御意見を参考に、障がい者への配慮が欠けることがないように、誰もが利用しやすい施設を目指して参ります。 障がいのある方の雇用につきましては、貴重な御意見として、今後の施策や事業展開の参考とさせていただきます。また、カフェにつきましては、利用者が飲食を楽しみながら長時間滞在できるように簡易カフェの設置等を検討して参ります。
9	本件基本構想・基本計画に関わる「市民説明会（公聴会）」の開催を提案します。 （理由） 1. 本構想・計画は市の行う事業としては従来にも増して巨大かつ複雑であり、現状市民側に十分な理解と認識が徹底されているのか大変疑問であること。 2. 本件施設の使用者であり、建設費用等の最終負担者でもある市民は本計画の当事者でもあることを前提に、市民が計画内容を事前に充分理解し、納得の上事業を進めることは必須の条件であること。その為には「市民説明会（公聴会）」の開催が是非共必要と考え提案致します。	長い間の懸案となっております図書館を中心とした生涯学習施設につきましては、現在の図書館が非常に狭いことから、蔵書数・蔵書構成に限界があり、十分な資料や閲覧スペースを確保できず、市民サービスを十分に果たせない状況にあるため、早急に建設を進める必要がございます。 そうした中で、生涯学習施設の事業実施のための方針や方策を示した「基本構想・基本計画」の策定につきましては、平成25年7月に立ち上げました有識者15名で構成されております生涯学習施設建設検討委員会において検討を進めて参りました。 また、議会や教育委員会、その他関係する機関におきましては、その都度御説明をし、御意見を伺いながら進めて参りました。 御提案のありました「市民説明会（公聴会）」の開催につきましては、具体的な設計となる「基本設計」におきまして、市民の皆様の御意見を伺って参りたいと考えておりますので御理解願います。

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
10	基本計画・基本構想であることから、どうしても具体的なイメージができないところが一部ありました。 そこで、図書館を中心とした意見・要望を記載します。 学校との連携において、小・中学校の授業の単元に合わせた企画を行って欲しい。時間的な制約の中で授業では伝えられないことも理解できるし、子供たちの関心も高められると思います。例えば、柴山伏越について授業でふれる時期に図書館と資料館で合同の企画を立て、図書館の資料で学んだあとに市内の郷土を研究している有識者と現地見学などを行う企画を行えば、世代を超えた触れ合いにもつながりそうです。 本離れが進むと言われる中学生・高校生にも青少年サービスとして検討されておりますが、市内の中学生・高校生にアンケート等どのような図書館が欲しいか意見を聞いてほしい。こうすることで、中学生・高校生の関心も高まり、利用が促進されるものと思います。 社会人に向けた課題解決の支援については、市内外の関連施設・部門（市役所、病院、弁理士、研究機関等）との連携も期待しています。分からないことがあったら、まずは図書館に行ってみよう。そうすれば、ヒントが得られる。という施設にできればいいなと思っています。 新図書館の施設とは直接的な関係はありませんが、多くの方が利用する駅をサービスポイントとして考えて欲しいです。通勤や通学途中に本を読むことが多いので、駅で予約した本を受け取れたり、返却できるととても便利です。さらに図書館の開館時間でなくても、本が受け取れるように、コインロッカーを利用するとか、コンビニで受け取れるようにするとかできると、開館時間の関係で今までは土日しか利用できなかった人でも平日も利用できます。 この施設には地域のコミュニティの中心になってほしいと思っています。図書館の資料と市内の産業や人材、郷土を活かした体験できるイベントなどを通して、生涯学習、自己実現ができる施設にしていきたい。行政だけでなく、市民も参加して、どのような図書館にしていきたいか意見を交換する機会を増やしていただきたいと思います。	図書館機能のサービスにつきましては、子どもから高齢者までさまざまな年代に応じたサービスを提供したいと考えております。御提案いただきました学校との連携、中学生・高校生の利用促進、社会人に向けた課題解決の支援につきましては、御意見を参考に、地域の理解を促進できるようなさまざまなサービスや事業を展開して参ります。また、課題解決型の図書館として、市民の学習、調査・研究を支援できるよう努めて参ります。 サービスポイントにつきましては、市内全域サービスとして、公共施設などをサービスポイントとした貸出や返却につきまして、他市町の事例等を参考に、電子書籍の活用などと併せて検討を進めて参ります。 今後、地域のコミュニティの中心となる魅力ある施設となるよう、生涯学習施設の基本コンセプトであるすべての人たちが生涯を通じて楽しく学び、憩い、交流することができる生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点を目指し、検討を進めて参ります。

「白岡市生涯学習施設基本構想・基本計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

番号	意 見	意見に対する考え方
1 1	白岡市民一人5万円以上にもなるこの計画は、このようなパブコメだけで済ます問題ではありません。手続きとして市民説明会や公聴会を開くべきです。図書館機能についていうならば、学校図書館や児童館などとの連携や県や国とのネットワークなども考慮すべきです。さらに既存の社会教育施設とのかかわりや相互の連携・役割もはっきりさせるべきです。わたくしは既存の学校施設や公共施設の改修や増築で考えられている内容を実現できるように思います。施設は新しいからよいのではなく、市民に利用され活用させるからよいのです。今度の計画が社会教育や生涯学習の振興を図る目的が箱モノの施設づくりで、市の財政を圧迫し、必要な生涯学習や社会教育の予算が組むことができなくなるのではないかと心配します。	「市民説明会や公聴会」につきましては、9番の回答のとおり次の段階で、実施したいと考えておりますので御理解願います。 既存施設との関わりあい、連携やネットワークにつきましても、関係機関と協力し合いながら検討して参ります。 また、既存の学校施設や公共施設の改築や増築につきましては、立地の良い施設はすべての部屋が利用されていることと、増築するには、駐車場等敷地条件を考慮すると難しいと考えられます。また、学校施設は設備が古く、段差の解消、手すりの設置などのバリアフリー化や、エレベーター、空調設備の設置、駐車場の整備など高齢者や障がい者に配慮した大規模な改修等が必要となります。 このため、周辺の公共施設の相互利用や施設連携が可能となり、用地取得費用が掛からない千駄野運動広場を建設用地として、今後も市の財政状況を考慮しながら検討を進めて参りたいと考えておりますので御理解願います。